

# 富山県立魚津工業高等学校 同窓会だより

第 29 号

令和元年9月26日発行

富山県立魚津工業高等学校

同 窓 会

事務局 〒937-0001 魚津市浜経田3338

魚津工業高等学校内

TEL 0765(22)2577 FAX 0765(22)2578

URL <http://www.tym.ed.jp/sc324/>Eメール [uozu-th@tym.ed.jp](mailto:uozu-th@tym.ed.jp)

## 平成から令和へ

同窓会員の皆様にはますますご健勝で、職場でまた地域で日々活躍のこととお慶び申し上げます。

本年は天皇陛下のご退位により、30年余り続いた平成の時代を終える歴史的な節目を迎えることとなりました。平成の時代はバブル経済の崩壊から始まり、リストラや雇止めなどの雇用問題、証券会社の破綻による金融不安、さらには年金問題などで社会が大きく揺らぎました。その後、経済がもち直してきたと思われた矢先に、リーマンショックに陥ることになりました。まさに激動の平成時代であったと言っても過言ではありません。

本年5月からは新たな元号「令和」が始まりました。新たな時代の到来に大きな期待を寄せるとともに、やはり安全で安心なそして安定した社会が続くことを願っております。今後、我が国は人口減少時代を迎え、人手不足や技術継承者不足などの課題を抱えると思われれます。経済力の衰退などが危惧される一方、今後は

革新的技術や第4次産業革命、第5世代移動システムの普及など、イノベーションによる課題の解決や社会の発展が期待されています。

本校は開校以来、若き技術者の育成に力を注ぎ多くの優秀な人材を輩出してきました。県内外の企業の皆様方から高い評価を頂いており、今後も時代の潮流に即した人材育成に努める責務があると考えております。

来年の東京オリンピック・パラリンピックや2025年大阪万博は、我が国の更なる進化の起爆剤になることは確実であります。更なる社会の発展とともに、教育の在り方や求められる人材も変わる時代を見据え、本校教育の更なる向上を目指していかなければなりません。

昨年に引き続き本年も会員各位のご理解とご支援を賜り、積極的な同窓会活動を実践し、



校舎から見える地鉄

同窓会長 米澤 賢太郎

本校教育の発展に寄与していく所存でございます。

結びに、母校の更なる発展と同窓会皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



## 工業高校を支える環境

校長 吉田 幸市

同窓会の皆様には、日頃から本校へのご支援とご協力を深く感謝申し上げます。

7月に開催されました同窓会関東支部総会に米澤会長と共に参加しました。学校の様子や生徒の活躍ぶりを報告した後、一人ひとりから近況や母校に対する熱い思いをお聞きました。このように卒業後ずっと母校へ思いを寄せて下さる同窓生の皆様のお力を強く感じ、頼もしく、そして本当に有り難く思いました。

さて、その際にも話題になりましたが、少子化の影響を受け県立高校の再編が行われ、新年度には8校の県立高校が新設4校に生まれ変わります。この少子化の傾向は本県に限った話ではなく、志願生徒の減少を起因とした、高校再編の動きは全国で進んでいます。その中であって、志願生徒の減少は工業高校でも顕著であり、全国的に志願者の減少が課題となつていきます。本校にとつても志願生徒の増加は喫緊の課題であり、その上で「ものづくりを通して、地域や社会の健全で持続的な発展を担

う職業人の育成」という学校の教育目標を果たしていきたいと考えています。

そして、工業界でも少子高齢化が進み、深刻な人手不足が見込まれています。技術革新が起こり、AIやロボットが発達しても、人の手がなくてはならないことが必ずあります。また、工業の現場が迎える変化は人手不足だけではありません。高度な技術が次々と導入され、生産者と消費者が直接取引するようになるでしょう。今後は豊かな発想力が求められます。これまで以上に生徒の視野を広げるために、ものづくりの現場に入ったり、国際交流をしたりすることも必要になります。改めて、工業高校の担う重責を感じ、同窓生の皆様をはじめ、地域の皆様のご支援を得て、今後も「ものづくりを通して人づくり」に努めていきたいと思ひます。

おわりに、同窓会会員の皆様の健康と益々のご活躍を祈念すると共に、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関東支部懇親会で同窓会だよりの原稿の依頼を受けて、さあ、何を書くかと思ひ、卒業後の50年間に何があったかを書くことにしました。

無線関係の仕事がしたくてN社に入社しま

したが、配属されたのはコンピュータの保守部門でコンピュータの設置・撤去と保守作業を名古屋で2年行いました。その後、東京に戻りコンピュータの保守会社設立にともなつて、その会社に出向となり5年、保守技術管理の業務を行いました。保守会社も軌道に乗り、出向から戻りました。そしてコンピュータの検査部門で電電公社(現在のNTT)へ納入するコンピュータの検査・公社の立会検査・納品設置と5年、かなりストレスの掛かる業務でしたが今となつたら良い思い出です。(笑)その後会社としてはシステムエンジニアが必要ということでシステム部門に移動、金融機関の窓口端末のシステム設計・現金自動取引機(ATM)のシステム提案・設計・納入のため、日本各地へ出張の日々で夜も昼も無い生活を10年、その中でもオーストラリアへ窓口端末と現金自動取引機を納入と初めての海外出張したことが思い出されます。また、岐阜県の某銀行と沖縄県の某銀行との仕事が続く思い出に残っています。

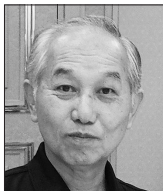
沖縄は日本に返還直後だったので食べ物がないので食事には苦労しましたし、メイン通

## 卒業後の50年間

職場同窓会  
紹介シリーズ

日本電気株式会社

第9回 電気科 松岡 貢 (S46年3月卒)



りの国際通りがまだ舗装されていなくて砂埃りがあり、また、左側通行でバスに乗るときはバス停が道路の反対側となり、バスを待つのも苦労した思い出があります。

最後の仕事はセブン銀行の設立時期からATMシステムの提案・設計・納入・稼働と次期二世代のATMを稼働させ10年を経てめでたく退職を迎えました。

色々な仕事をしてきましたがそのときそのときは一所懸命で夢中になつて行なってきました。どんな仕事をしていたときも苦労と成し遂げたときの喜びと充実した会社生活を行ってきました。

いよいよ会社生活42年で退職させてもらい、年金と貯蓄の持出しで過ごす日々となりました。現在は健康維持のために20代後半から始めたゴルフを週2〜3回のペースでラウンドしています。ゴルフに出かけない日は家を出なくテレビのおもりをし

て体を動かさない状態になつてしま

うからです。  
高校卒業後50年、半世紀の人生で会社に行っている時は夢中で仕事と取り組み老後の生活など考えたことも無かったのですが、ここ最近、今後どう過ごすか考え、富山に戻り親と一緒に生活するのか、それとも東京に残りゴルフ三昧の生活をするかと考える年齢になりました。最後に母校の更なる発展と同窓会の皆様方のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

標題は、我が社の基本方針から取ったものです。存在感あるキラリと光る良い会社」と謳っていますが、実際のところ親会社である日本カーバイド工業の事は分かっています、我が社が一体何をやってる会社か地元魚津の人でさえ余り知られていないのが実情です。

社名や親会社が化学メーカーという事もあり、何かビニール関連の会社ぐらいと考へてる人が多いかと思われませんが、意外にもアルミ建材関連の売上が全体の80%を占める会社なのです。当社は、昭和37年創業当時としては最先端？の樹脂製（プラスチック製）の室内建具製品の製造販売から始まり、その樹脂材を押し出し成型する事から現在の樹脂事業が出来て、現在は樹脂製のLED電灯カバーやサッシ部材の一部などの主にOEM製品を製造販売しています。もう一つの柱は建具製品の製造から派生してアルミ関連の建材製品を製造する建材事業となりました。当初は網戸、玄関引戸などの一般住宅アルミ建材を全国のガラス、アルミサッシ関連の間屋、販売店に販売していましたが、現在では皆さんが良くご存じのYKKや三協アルミ、リクシルといった大手サッシメーカーで殆どのシェアを独占している状況の為、我が社の住宅関連のアルミ建材製品は殆ど姿を消した状況です。しかし、それでもアルミ建材の売上が全社の80%を占める理由こそが「存在感あるキラリと光る良い

## 存在感あるキラリと光る良い会社

職場同窓会 紹介シリーズ ビニフレーム工業株式会社

第14回 電気科 四十内 真 (S51年3月卒)



会社」なのです。現在、我が社のアルミ建材製品の主力はビル用アルミ手摺です。主にマンションや公営住宅、老人福祉施設、病院といった大型建造物の廊下、バルコニーなどについてるアルミ手摺なのですが、建造物の付属品である為、特に社名が表に出る事はありません。しかし、東京をはじめ全国の高層、中低層マンションなどに数多くのアルミ手摺製品を納めており、業界トップとは言いませんが、そこそこのシェアを誇り建設業界内では正しく「存在感あるキラリと光る良い会社」であると自負しております。意外やマンション等にお住いの同窓生の皆さんももしかしたら自宅のベランダの手摺は我が社の物かも知れません。社名がついてないので確かめる事は出来ませんが。

私は昭和55年入社以来ずっと営業として大阪、京都を皮切りに、盛岡、仙台、新潟を回り最後は、長野に単身赴任し平成29年12月末無事定年退職を迎えました。現在は再雇用され、初めて本社（魚津）勤務となりました。考へてみれば地元で就職したつもりが転勤族となり、家族にはその度に引越しや転校と色々大変な思いをさせましたが、今思えば転勤族でなければ味わえないような地方での出会いや体験など良い思い出ばかりが蘇ってきます。

最後に母校のますますの発展と同窓生の皆様ますますのご健勝をお祈りいたします。

この度、同窓会だよりの職場同窓会紹介シリーズの原稿依頼をいただいたことに感謝申し上げます。

高校生活を振り返ってみると、電気に打ち込んだ3年間だったと思います。入学当初は、電気に興味があまりないまま授業を受けていた記憶があります。しかし、電気工学部に所属したことから電気の面白さに気付き、電気の世界にのめり込んでいきました。高校2年生の時に取り組んだ、工業技術論文（ミラコン）では、とても良い仲間や、優秀な先生方に囲まれ、毎日研究に打ち込んだのはとても良い思い出です。この事があって、卒業後の進路を電気の第一線で働きたいと思い北陸電力（株）に入社しました。

## 北陸と共に

職場同窓会 紹介シリーズ 北陸電力株式会社

第56回 電気科 山本 航太郎 (H30年3月卒)



入社後は、富山市呉羽にある研修センターで研修を受け、最初に配属されたのは現在の職場である、神通川水系の発電所を管轄する神通水力センターです。ここでは、水力発電所・ダム の運用、保守、管理を行っています。高校時代に電気科で学んだ知識を活かし、一人前の技術屋になれるよう、日々の仕事に取り組んでいます。

当社は、昭和26年の電気事業再編に伴い、9電力体制の一つとして発足しました。その際、全国初の水力発電所の運転を開始し、電力の需要増加と共に石炭火力、原子力等の発電を組み合わせた、エネルギーミックスを行い、電気の安定供給に努めています。これまでは発電、送電、変電、配電を一括して行っていました。が、東日本大震災をきっかけに電力システム改革が行われ、送配電部門の一層の中立性を確保するため、一般送配電業を分離し、2020年4月に『北陸電力（株）』および『北陸電力送配電（株）』の2社に生まれ変わります。また、『北陸電力グループ2030ビジョン』の実現の為、総合エネルギー事業の拡大、新たな成長事業の開拓をグループ全体で取り組んでいます。

当社では地域活性化やお客さまに便利でお得なサービスをご提供する「ほくりんく」北陸電力の会員サービスがありますのでご紹介させていただきます。

最後に、同窓会会員の皆様のご活躍とご健勝を心よりお祈り申し上げます。

## 全普通教室のエアコン整備が完了

昨年の記録的な酷暑を受けて、県は平成31年度から県立高校の普通教室のエアコン整備を公費により整備推進し、運用経費も県が負担する方針を打ち出しました。

これまでも本校では、室温が異常に高くなる管理教室棟の4階、3階の普通教室のエアコンを独自予算により順次整備しておりましたが、教室のエアコン整備が全国的な流れになりつつある中、業界の在庫や繁忙度合いも鑑み、残る2階の3学年普通教室のエアコンを県の整備を待つことなく先行して取り付けすることとし、約350万円の費用を投じて平成31年2月に工事契約、4月には引き渡しを受けました。これにより本校の全普通教室のエアコン整備が完了しました。なお、これまで整備してきたエアコンは、すべて県が買い取っております。

課業期間中、気温が30℃を超える日が多いことや、夏期休業期間中の補習授業などにも活用しており、生徒は大変助かっております。

これからエアコンが順次整備される職業高校も多い中、本校は一足早く快適な環境下で授業ができるようになりました。関係各位には深く感謝申し上げます。



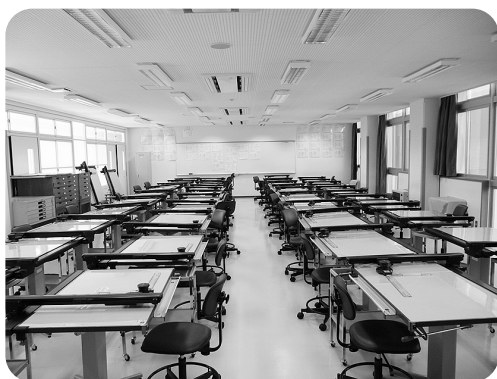
## 県内ナンバー1の製図室

機械科情報環境科実習棟、2階製図室にある製図用ドラフターが昨年度末に更新されました。

本校の製図室には、当時の桜井高校機械科から払い下げられたドラフター40台がありましたが、当初取得から30年以上経過したドラフターは故障やがたつきが多く、修理が困難なこともあり、この度約1134万円の費用をかけてすべて更新されました。

また、平成28年3月に竣工した実習棟内の製図室は、県内高校で唯一エアコンが整備されており、今回新しいドラフターが導入されたことで、県内ナンバー1の設備を誇る製図室となりました。業界の機械製図はCADが全盛の時代ですが、設計製図をするための創造力を養うには、手描き製図での訓練が欠かせません。ドラフターの更新により、授業内容の更なる充実を図ってまいります。

なお、本校では機械製図検定特別表彰、全国製図コンクール最優秀特別賞の受賞者を毎年のように輩出しており、真新しいドラフターを使っている今後一層の躍進を願っております。





入場行進にてフィールドドリーム賞を受賞(花園ラグビー場)



花園1回戦(VS 鹿児島実業)

ラグビー部

## 3年ぶり3回目の花園出場



富山県大会を制した魚津工業高校の選手たち

魚津工業高校ラグビー部部长 松本 進吾

昨年度、第98回全国高校ラグビーフットボール大会に3年ぶり3回目の出場を果たすことができました。同窓会の皆様方のご支援、ご協力のおかげで、我が部が富山県代表として晴れの舞台で試合をできる機会を得ました。3年前に花園に出場してからは、県大会の決勝に進出できず、とても悔しい思いをしてきましたが、その経験が今回のチームを成長させてくれたのだと思います。

「花園ベスト8」という大きな目標を掲げ、北信越総体、全国7人制大会、菅平合宿を経て、いよいよ迎えた全国大会予選の決勝。相手は3年前と同じ富山第一高校。小雨の降る中、点を取ったり取られたりの緊迫した展開でしたが、なぜか負ける気はしませんでした。それは生徒たちが積み重ねてきた努力が生んだ自信と勝ちたいという強い気持ちが相手を上回っていたからだと思います。勝利を決めた瞬間の選手、コーチ、保護者の方々の嬉しそうな表情を見て、喜びと安堵感でいっぱいでした。

全国大会の対戦相手は鹿児島県代表の鹿児島実業高校でした。対戦相手がどこであろうと自分たちのラグビーをやり抜こうと決めました。開会式では、明るく元気な行進をしたチームに贈られる「フィールドドリーム賞」を県勢で初めて受賞するご褒美もいただきました。

試合は、序盤から全国出場経験に勝る鹿児島実業のスピードのある攻撃を止めきれず苦しい展開となりましたが、後半に2つのトライを決め、意地を見せることができました。結果は14-45で敗れ、選手たちは悔し涙を流していましたが、最後までチームのために戦い続けた選手たちを私は誇らしく思いました。

今年もまた予選が近づいています。指導者、選手が心を一つにしてチームを作り、大会に臨みたいと思います。ラグビーを楽しむ純粋な気持ちを大切にして、挑戦者として2年連続花園出場を目指し、練習や試合に全力を尽くしたいと思います。今後とも、同窓会の皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いします。

## 平成30年度 同窓会総会

平成30年度魚津工業高校同窓会総会が、同年11月10日(土)午後6時よりスカイホテル魚津にて開催されました。

米澤会長(第3回機械科卒)の開会挨拶に引き続き、吉田校長、藤田関東支部長(第2回電気科卒)がそれぞれ挨拶されました。永年勤続教職員表彰では10年勤続の浅野淳一先生、山田浩史先生、本多剣五先生、長谷哲伸先生に感謝状および記念品が贈呈されました。

続いて議題に入り、平成29年度会務並びに事業報告、同窓会一般会計・同事業会計・魚工展積立会計、全国大会特別会計・同窓会部活動助成費特別会計の決算並びに監査報告、平成30年度事業並びに会務計画(案)、一般会計予算(案)等が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

総会終了後、会員39名 教職員18名 計57名の参加を得て、二川副会長(第6回工業化学科卒)の司会進行にて懇親会が催されました。

会長、校長の挨拶後、長田顧問(第2回機械科卒)による乾杯の音頭にて開会され、和やかで明るい雰囲気の中でお互いの近況報告や情報交



平成30年度 総会

換そして高校時代の思い出話に花が咲きました。その折に、関東支部から参加された藤田支部長と太田副支部長(第5回電気科卒)が第20回関東支部総会の報告(開催日…平成30年7月7日(土)、場所…帝国ホテル)をされ、参加者一同興味深く聞き入りました。

最後に、校歌を参加者一同で声高らかに斉唱し、閉会の挨拶で大盛況の内に懇親会を終え、気の合う仲間同士で夜の繁華街へ繰り出しました。

## 生徒の進路希望と求人状況

【就職】県内企業は景気回復に伴う事業拡大や人手不足への対応のため、採用に対して積極姿勢が続いています。新聞調査によると、現状の人員に「不足感がある」と回答した企業が6割と人手不足感が強いことが伺えます。

今年度は就職希望者が昨年より増え、8割近くに達しています。

8月中旬での県内企業数は351社、求人数は651名と昨年のほぼ2割増しでした。これに対して就職希望者は全体の約80%にあたる119名。この時期での有効求人倍率はほぼ6倍に近い。

就職希望者は8月の中旬には、ほぼ応募先を決定することになります。

ここ数年、企業は意欲のある優秀な人材を求めており、選考試験の競争も激しさを増しています。

生徒達は危機感を持ち、夏休み中も履歴書の作成や作文・面接練習に励み、試験に備えています。

【進学】今年の進学希望者は22%で、昨年度に比べて10名ほど減っています。専門・専修学校等の進学希望者が9名減っていることが要因です。進学希望の生徒たちには、何のた

めにその学校に進学するのかを明確にした上で勉学に励むように指導しております。生徒たちが志望校に合格し、それぞれが思い描いた学校生活を送ることを願っています。

本校を巣立っていく生徒たちは、同窓会の諸先輩方にお世話になることと存じます。つきましては、今後とも厳しくも温かいご指導をよろしくお願い致します。

|                               |              |              |        |  |  |
|-------------------------------|--------------|--------------|--------|--|--|
| ○求人企業数・求人数                    |              |              |        |  |  |
| 県内                            | 351社(319社)   | 651名(550名)   |        |  |  |
| 県外                            | 244社(230社)   | 248名(290名)   |        |  |  |
| ○就職希望者                        |              |              |        |  |  |
| 119名                          | 全体比78%(115名) | 全体比74%(113名) |        |  |  |
| 県内                            | 115名(113名)   |              |        |  |  |
| 県外                            | 4名(2名)       |              |        |  |  |
| ○進学希望者                        |              |              |        |  |  |
| 34名                           | 全体比22%(44名)  | 全体比28%(40名)  |        |  |  |
| 大学                            | 15名(16名)     | 短大           | 2名(5名) |  |  |
| 能開大                           | 6名(7名)       | 公共職訓         | 2名(0名) |  |  |
| 専門                            | 9名(16名)      | 未定           | 0名(0名) |  |  |
| ※データは8月8日現在、( )は昨年実績          |              |              |        |  |  |
| 今年度卒業予定者数 153名(昨年度卒業生徒数 155名) |              |              |        |  |  |

## 第30回 海外技術見学会に参加して

3E 宮崎 翔

私たちは「ウオテクザウルス」というテーマで、第32回工業技術論文発表大会・ミラコン2019に参加しました。そして、大会後に行われた海外技術見学会で台湾に行きました。

私は海外に行くのは初めての経験で、恐いような楽しみのような気持ちでした。しかし実際に行ってみると、現地の方がフレンドリーに接してくれ、すぐに不安は無くなりました。

強く印象に残っているのは学校交流です。私たちは台湾の首都の台北市にある松山高級工農職業学校に行きました。生徒の皆さんはとても明るく迎えてくれたので、親しみやすかったです。私たちのために出し物をしたり、校内を案内してくれたり、言語や文化の違いというのは思っていたよりも大した問題ではないのだなと思いました。交流が終わる頃には、始まるときには想像もしていなかったほど打ち解け、今でもスマホアプリで繋がっています。

日程が進む中で、いろいろな観光地や歴史的な建物などの見学もさせ

てもらいました。その中でも最も印象深いのは、有名な観光地である九份に行けたことです。山の斜面にある小さな集落ですが、赤い提灯が至る所に吊され、日本には無い独特な素晴らしい風景でした。

今回の見学会では、普段は味わえない事がたくさんありました。同行した他校の生徒とも仲良くなれ、実りある海外技術見学会になりました。



松山高級工農学校にて

## ロボット相撲 自立型北信越・東海大会 優勝 ロボット相撲全国大会(福島県)出場 ベスト16入り！

情報環境科学部

ロボット相撲とは、参加者が自作したロボット力士を技術とアイデアで戦わせる競技である。鉄板の土俵上に2台のロボットを置き、どちらかのロボットを土俵外に押し出すことで勝敗が決まる。ロボットの規格は、幅200mm×奥行200mm、体重は3000g以内でなければならない。身長は自由となっている。ロボットの種類には、コンピュータプログラムで戦う「自立型」と、プロボを操作して戦う「ラジコン型」の2つの部門にわかれており、それぞれ横綱を目指して戦う。

非常にスピーディーで、インパクトのある競技であり、勝つためには判断力やひらめきが重要となってくる。今年度から各地区の参加台数を勘案し、9地区から6地区へ変更された。北海道・東北大会、北信越・東海大会、中国・四国大会、関東大会、近畿大会、九州大会の6地区に集約されて開催されることになった。北信越・東海大会を勝ち抜き、富山県の工業高等学校から、唯一全国大会に出場することになったロボットは、「魚丸」中陳界良(2年)、木下碧(2年)である。

平成30年11月23日(金)福島県郡山市のビックパレットふくしまで開かれた高校生ロボット相撲全国大会に出場した。全国から自立、ラジコン型各32台の精鋭がビックパレットふくしまに集まり、高校生全国大会が行われた。自立型の部には、富山県から「魚丸」が出場した。機体の特徴は、速度が遅く、非常に磁力が強いタイプのマシンであることである。しこ名は「魚丸(さかなまる)」。由来は学校名の漢字が入ったしこ名にしたかったからだ。1回戦は、福島県立白川実業高等学校の「スターマイン」と対戦した。対戦相手は、アームや旗などの付いていないオーソドックスなマシンである。

このマシンには、1本目は正面から押し出し先取し、2本目は相手が回り込んで来たが、白線を検知せずそのまま自滅して土俵外に落ちた。2回戦目は、長野県立岡谷工業高等学校の「心神」と対戦した。同地区の対戦で、北信越・東海地区大会で1度対戦した相手である。その時は、こちらのマシンが前から押し勝つことができた。しかし、今回は2本とも横を取られ、相手の上手い作戦にやられて敗戦した。

初めての全国大会出場で、私たちが作ったロボットについて、全国で通用する部分と通用しない部分に分かりました。来年度も連続出場できるように改良を加えていきたい。



# 母 校 だ よ り

## 教職員の人事異動

(平成31年3・4月)

平成30年度末の人事異動により、次の方々の異動がありました。

ご退職・ご転出されました先生方には、これまでのご指導に深く感謝し、一層のご健勝とご活躍をお祈り致します。

ご転入の先生方には、本校に新鮮な息吹を吹き込んでいただきたく、ご活躍を期待申し上げます。

### ◎ご退職(役職や教科)・今年度

平野 敏 治(実習教諭)・臨任実習助手

### ◎ご転出(役職や教科)・転出先

米田 由 和(教頭・機械)・富山工業高校

能登 美紀子(国 語)・上市高校

橋本 行 史(機 械)・富山工業高校

山田 浩 史(保健体育)・砺波工業高校

上田 遼 馬(臨任実習助手)・富山工業高校

吉田 桂 子(事 務)・県庁監査委員事務局

### ◎ご転入(役職や教科)・前所属

角井 勇 人(教頭・機械)・教育委員会小中学校課

伊東 篤 志(保健体育)・新川みどり野高校

堀田 行 子(再任用・国語)・雄山高校

岩田 昭 志(再任用・機械)・富山工業高校

松本 知 幸(事 務)・都市計画課

牧野 遼(臨任実習助手)

## 部活動の記録

### ★アーチエリート部

県春季大会  
70mラウンド 男子個人

1位 西本(3M2) 平澤(2M1)

3位 西本(3M2)・経澤(3E)・平澤(2M1)

県高校総体  
70mラウンド 男子個人

1位 室谷(3M2) 西本(3M2)

2位 西本(3M2) 経澤(3E)

3位 室谷(3M2) 西本(3M2)

北信越高校総体  
70mラウンド男子団体 1位 室谷(3M2)

北信越高校総体  
オリピックラウンド男子個人 7位 室谷(3E)

オリピックラウンド男子団体 2位 福井(3M1)・西本(3M2)

室谷(3E) 室谷(3E)

★剣道部  
魚津市剣道大会  
男子個人 優勝 竹田(3M1)

3位 八倉巻(3E) 加藤(3E)

県高校総体  
男子個人 ベスト16 加藤(3E)

新川地区総体  
男子団体 準優勝 小倉(1M1)・石川・新田(1E)

長谷田(1J)

★卓球部  
魚津市長杯争奪高等学校野球大会 優勝

2016Enel Challenge KVA-BIKE

KVA-BIKE チャレンジクラスII

クラスII総合1位・高等学校部門1位

魚岸(3M1)・中島(3M2)・石山(2E)

三松(2J)・草野・米山(1M2)

クラスII総合3位・高等学校部門3位

戸田(3M2)・伊東(3E)・藤井(2M2)

横川(1M2)・坂東(1E)

★吹奏楽部  
富山県吹奏楽コンクール  
高等学校B部門 銅賞

## 令和元年度 総会のご案内

と き 令和元年11月9日(土)  
午後6時～

ところ スカイホテル魚津  
※懇親会 午後6時30分～  
会費 5,000円

企業世話係の方々を通じてチケット販売を致しております。  
ぜひ、皆さん誘いあってご参加下さい。



2019年11月10日(日)

## 第47回 吹奏楽部定期演奏会

I. クラシカルステージ  
II. ポップスステージ  
III. ステージドリル

13:30～ 開場  
14:00～ 開演



新川文化ホール 前売り 500円